

ANAグループ環境データ

環境に関する2010年3月期のデータをまとめました。ANAグループが環境や社会に及ぼしている影響について、数値やグラフでご報告します。

◆ 2010年3月期環境データ一覧

				単位	ANA単体	ANAグループ合計
オゾン層破壊		ハロン・フロン(航空機)	全排出量	kg	0	0
水資源		水資源の消費(建物での使用)合計		万トン	44.4	66.7
自然生態系破壊	水質汚染	廃水処理(建物での使用)量		万トン	3.5	14.1
		航空機防除氷液の使用量		kℓ	右記に含む	1,347
	有害物質	PCB(ポリ塩化ビフェニール)保管量		トン	4.4	11.4
地球温暖化	森林破壊	紙の使用量		トン	右記に含む	7,253
	エネルギー	エネルギー消費(原油換算)	総計	原油万kℓ	281	298
			航空機エネルギー(原油換算)消費	原油万kℓ	236	292
			地上エネルギー(原油換算)消費(機体へ電力供給含む)	原油万kℓ	4.5	6.4
			航空機 燃料消費	万kℓ	249.4	308.1
			消費量(提供座席キロ当たり)	L/100ASK	3.56	3.60
	大気汚染	全保有数	航空機	機	右記に含む	210
			自動車	台	右記に含む	3,520
			低公害車保有割合	%	21	23
		CO ₂ (二酸化炭素)排出量	総計	万トン-CO ₂	623	771
			航空機(総排出量)	万トン-CO ₂	614	759
			航空機排出量(提供座席キロ当たり)	g-CO ₂ /ASK	87.7	88.6
			地上設備・自動車(総排出量)	万トン-CO ₂	9.4	11.9
		NO _x (窒素酸化物)	(航空機のLTOサイクル [※] での排出量)	万トン-NO _x	0.51	0.61
		HC(炭化水素)	(航空機のLTOサイクル [※] での排出量)	万トン-HC	0.06	0.07
		CO(一酸化炭素)	(航空機のLTOサイクル [※] での排出量)	万トン-CO	0.37	0.47
	上投廃棄 燃料:航空機	総投棄量	総投棄量	kℓ	0	0
			回数	回	0	0
廃棄物	廃棄物	排出量	総計	万トン	2.07	2.35
			機内ごみ・し尿ごみ 合計	万トン	1.73	1.73
			(地上)全廃棄物合計	万トン	0.34	0.62

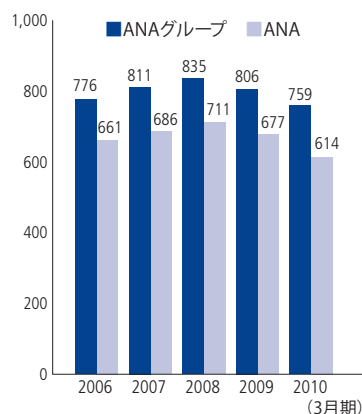
上記のデータは、2010年3月期におけるANAおよび連結子会社の一部(航空輸送、航空機整備、グランドハンドリング、ケータリング、車両整備、ビル管理など)の環境にかかわるものを集計したものです。なお、連結子会社の一部データは集計に含まれていません。

※ ICAOの定める離発着標準モデル

主要環境データ

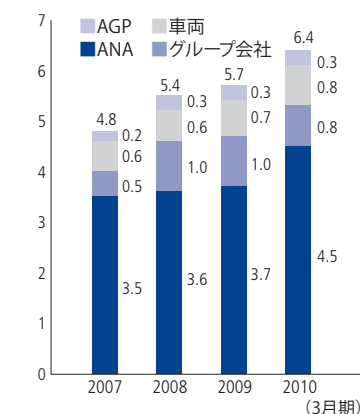
◆ 航空機のCO₂排出量の推移

(万トン)



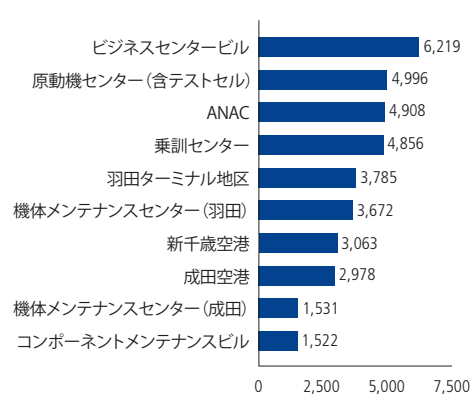
◆ 地上エネルギー消費量の推移

(原油換算:万kℓ)

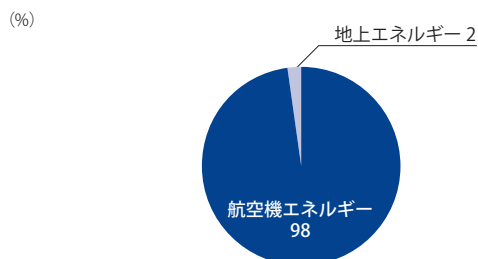


◆ 主要事業所のエネルギー消費

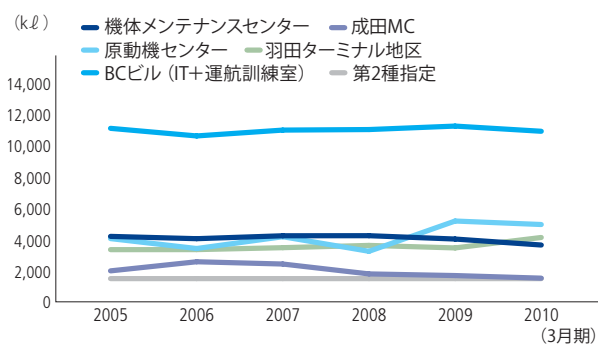
(原油換算:kℓ)



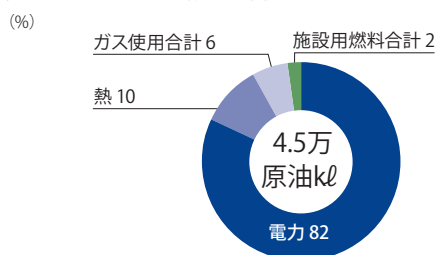
◆ 年間エネルギー消費の内訳 (原油換算)
(機体への電力供給含む)



◆ 主要事業所のエネルギー消費の推移 (原油換算)



◆ 地上エネルギー消費の内訳



廃棄物の排出量

概況

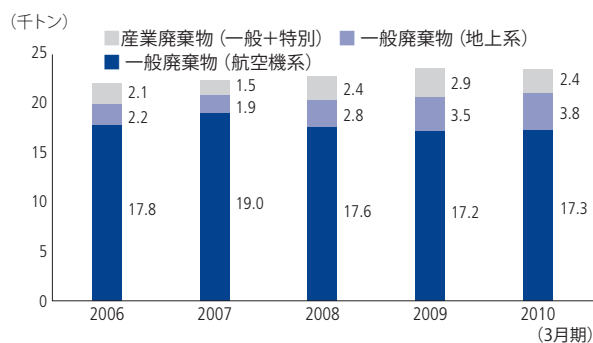
ANAグループ全体では23,510トンの排出量となりました。そのうち航空機からのゴミ(トイレからの汚水、機内ゴミ)が全体の約7割を占めます。残りは地上から出るゴミですが、2010年3月期に産業廃棄物は大きく減少しています。廃棄プラスチックは全体の3割を占めて、割合としては前期同様

です。機内ゴミ、廃棄プラスチックの削減が、廃棄物の排出量削減を促進する上での課題です。

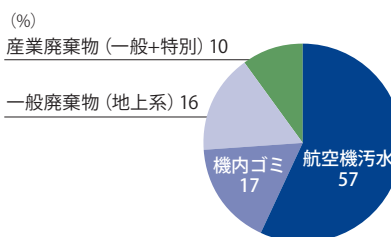
推移

2009年3月期より総排出量は10トン減少しました。産業廃棄物など全般的に減少していますが、地上系では一部移転などの要因で増加しています。

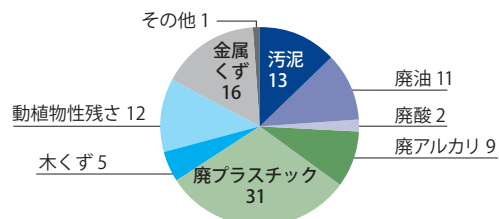
◆ 廃棄物の排出量の推移



◆ 廃棄物の内訳



◆ 産業廃棄物の内訳



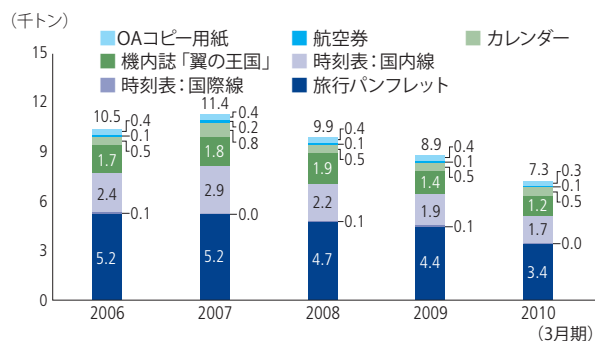
紙の消費量

概況

ANAグループ全体では7,253トンの消費となりました。対前期比18%減、1,627トン減少しています。時刻表、パンフレット、ポスター、機内誌など、航空会社の営業活動に使用するもの、事務所で使用するコピー紙(OA紙)も含めて全般にわたり減少しています。

OA紙の減少は3R活動での削減活動効果によるものです。

◆ 紙の消費量の推移

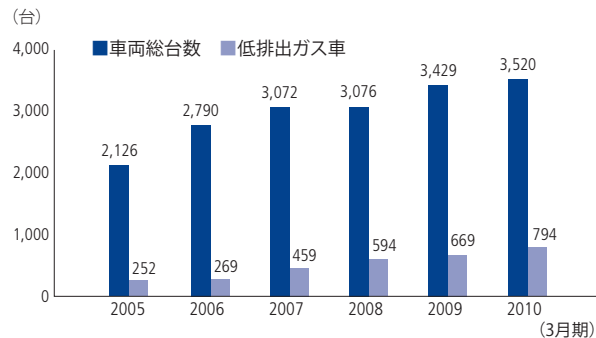


自動車保有状況

概況

グループ全体で、3,520台(リース車を含む)の自動車を使用しています。低公害車の保有台数は125台増加しました。低公害車保有比率は約23%で、前期から3%増加で着実に増加させています。

◆ 自動車保有台数の推移



◆ 保有する自動車の内訳



◆ 低排出ガス車の内訳

